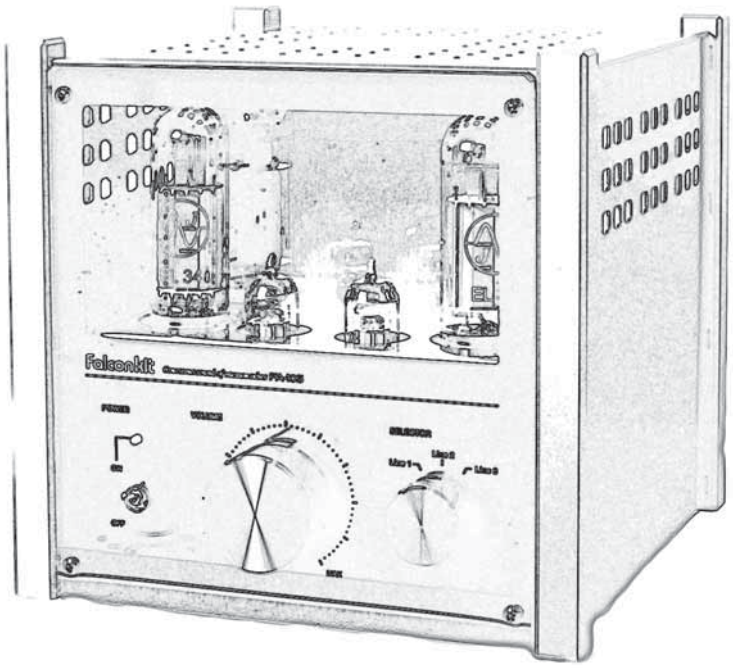
Falcon

EL34 シングル
ステレオパワーアンプ

FA-105BLD

取扱説明書



お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してください。

サンハヤト株式会社

◎特長と性能

FA-105BLDは、出力段に銘球「EL34」を採用したシングル構成ステレオパワーアンプです。力強く、奥行きのあるサウンド――管球アンプの音の良さを素直に発揮させる回路構成――

初段に高音質と定評の「ECC83S」を、出力段には銘球「EL34」を使用したCR結合・シングルアンプ構成を採用しました。さらに、出力段をUL（ウルトラ・リニア）接続とすることで、パワーと低ひずみをバランス良く両立させています。

ボリュームコントローラを装備していますので、CD等の出力をダイレクトに接続できます。また3系統の入力端子を備えていますので、お好みのソースをセレクタスイッチで簡単に切り替えられます。

更に、簡単に音質グレードアップができる、オプションパーツを用意しています。

心を満たす、シンプルで上質な時間。Falcon FA-105BLDが実現します。

◎付属品 （ご使用の前に次の付属品がそろっていることをお確かめください。）

●電源ケーブル・・・・・・・・・（1）

●真空管　EL34・・・・・　（2）
ECC83S・・・・　（2）
（真空管は全て本体に装着済み）

●ご愛用者アンケートのお願い・（1）

●取扱説明書（本書）・・・・（1）

音のエチケット

楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
特に静かな夜間には、隣り近所への配慮を十分にしましょう。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

◎目次

はじめに

特長と性能..... 2
付属品..... 2
目次..... 3
オーディオ機器の正しい使いかた..... 4
各部名称とはたらき..... 7
　前面パネル..... 7
　後面パネル..... 7

接続をする

接続の前に..... 8
各機器の接続..... 8
　再生機器の接続 8
　録音機器の接続..... 9
　スピーカーの接続..... 9
　電源ケーブルの接続..... 9

音楽を鑑賞する

電源を入れる..... 10
接続した機器を再生する..... 10

困ったときは

困ったときは..... 11

その他

仕様..... 12
保証と修理について..... 12
FA-150BLD　グレードアップオプションパーツのご案内..... 13

◎オーディオ機器の正しい使い方

（オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。）

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告
この表示を無視して誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています

⚠注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容（左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

電源プラグをコンセントから抜いてください

■ 故障したままの使用はしない

● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店または当社に修理を依頼してください。

■ 絶対に裏ぶたははずさない、改造しない

● 本機の裏ぶたは、絶対にはずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電し死亡またはケガの原因となります。
● 本機の筐体構造は一般的なオーディオアンプとは異なり、特殊な構成となっております。裏ぶたを不用意に外すと本機の破損や故障、ケガの原因になりますので、絶対に行わないでください。内部の点検・整備・修理は販売店または当社に依頼してください。
● 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 100V以外の電圧で使用しない

● 本機を使用できるのは日本国内のみです。
● 表示された電源電圧（交流100ボルト、50Hz/60Hz）以外の電圧や船舶などの直流（DC）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 放熱を妨げない

● 本機は真空管式オーディオアンプです。真空管は想像以上に発熱し、誤った使い方をすると真空管や本機の寿命を縮めたり、火災の原因となる事があります。本機には内部の温度上昇を防ぐため、キャビネットの上部や底部などに通風孔があけてあります。
次の点に気をつけてご使用ください。
※本機の上には、ものを置かないでください。また、本機の上面・底面の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり火災の原因となります。
※本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。
※本機を、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないでください。
※テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しないでください。
※本機を設置する場合は、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、本機の天板からは10cm以上の空間を、横面・背面からは5cm以上のすきまを設けてください。

◎オーディオ機器の正しい使い方

⚠警告

水場ぬれ禁止　水場での使用禁止

■ 水のかかるところに置かない

● 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
● 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

■ 水の入った容器を置かない

● 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 中に物を入れない

● 本機の通風孔などから金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

電源プラグをコンセントから抜いてください

■ 中に水や異物が入ったら

● 万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜いて販売店または当社にご連絡ください。

電源プラグをコンセントから抜いてください

■ 落としたり、破損した状態で使用しない

● 万一、誤って本機を落とした場合やキャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店または当社にご相談ください。

接触禁止

■ 雷が鳴りだしたら機器に触れない

● 雷が鳴りだしたら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

■ 設置上の注意

● 本機は約13キログラムの重量があります。設置場所を誤ると死亡やケガの原因となります。以下に注意して設置してください。
※強度の足りない台や、ぐらついたり傾いたりした所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、死亡やけがの原因となることがあります。
※本機の上に他のオーディオ機器を乗せたまま移動しないでください。倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。
※本機を移動する際は必ず**本体底部**を持って行ってください。他の部位を持って移動すると、落としてケガの原因となります。
※本機のボンネットを外した状態で動作させないで下さい。動作中の真空管に触れ、火傷の原因になります。動作中の真空管は250℃以上の高温になっています。
※お子様やペットなどがボンネットの隙間から手を入れる事の無いよう、設置場所にはご注意下さい。

■ 次のような場所に置かない

● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

◎オーディオ機器の正しい使い方

⚠警告

■ 接続について

● 本機の接続を行う場合は、必ず電源スイッチを切り、接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

■ 使用上の注意

● 電源を入れたときは音量（ボリューム）に注意してください。過大入力でスピーカーを破損したり、 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
● 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。アンプ、スピーカー等が発熱し、火災の原因となることがあります。
● 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様やペットにはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

■ 電源コード、電源プラグの注意

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
● 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
● 電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。
● 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
● 移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
● 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店または当社に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となることがあります。
● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となることがあります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものをのせてしまうことがありますのでご注意ください。
● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となることがあります。

■ スピーカーケーブルについて

● スピーカーケーブルを傷つけたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 点検・工事について

● お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。
● 使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をお勧めします。販売店または当社にご相談ください。本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除、点検費用等についても販売店または当社にご相談ください。
● 電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。
● シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。
● 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

◎各部名称とはたらき

前面パネル

パワーインジケータ
電源オンの時に点灯します。

Input Selecterつまみ
再生する機器を選びます。

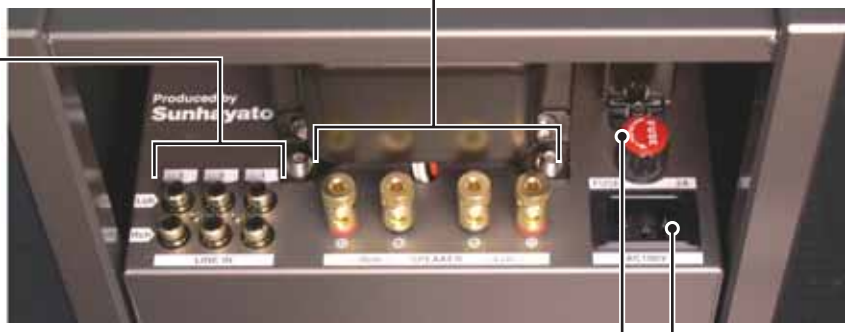
VOLUMEつまみ
音量を調節します。

POWERスイッチ
電源のオン/オフを切り換えます。

後面パネル

SPEAKERS端子
スピーカーを接続する端子です。

LINE IN端子（1、2、3）
CDプレーヤやテープデッキなどのラインレベルの音声出力やプリアンプのアンバランス出力を接続する端子です。



ヒューズホルダ
本機内に異常が発生した場合に溶断し強制的に電源を切ります。

AC INLET
付属の電源ケーブルを接続するソケットです。

◎接続の前に

⚠注意	接続の前に必ずお読みください。

本機は真空管式オーディオアンプです。
真空管はガラスで出来ているため、破損しやすいデバイスです。

本機の梱包には、真空管を輸送時の衝撃から守るため、専用の緩衝材を使用しています。
万が一、真空管が破損していたりソケットから脱落していた場合は、以下の手順を行わず、
当社までご連絡下さい。真空管が破損していたりソケットから脱落していた状態で電源を投入すると、
ケガや火災の原因となります。

電源ケーブルは各ケーブルの接続が終了したあとに行います。
全ての接続が終わるまでつながないでください。

◎各機器の接続

オーディオ用RCAピンケーブルの接続は以下
のように接続してください。

●右チャンネルを「R」、左チャンネルを「L」に 接続してください。
●オーディオ用RCAピンケーブルは電源ケーブルやスピーカケーブルと束ねないでください。
音質劣化やノイズ増大の原因になります。
●ケーブルのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。

再生機器の接続

1）ダイレクト接続

CDプレーヤやテープデッキなど再生機器を直接本機のLINE IN 1、2、3、4 L/R端子に接続します。
接続された機器はフロントパネルの Input Selecterで切り替える事が出来ます。

2）プリアンプ（またはセレクターボックス）との接続

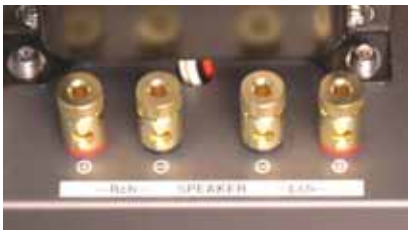
プリアンプ（またはセレクターボックス）の出力を本機のLINE IN 1、2、3、4 L/R端子に接続します。複数のプリアンプ（またはセレクターボックス）を接続し、フロントパネルのSelecterで切り替える事が出来ます。この場合、本機のボリュームはMaxにし、プリアンプ（またはセレクターボックス）側で音量を調整します。

◎各機器の接続

スピーカーの接続

● 適合インピーダンス
本機は6Ω～8Ωのスピーカに接続できるスピーカ出力端子を装備しています。

右側に設置するスピーカーは本機のスピーカー端子の「R」に、左側に設置するスピーカーは「L」に接続します。スピーカーのプラスと本機のスピーカー端子の「＋」、スピーカーのマイナスーと本機のスピーカー端子の「ー」をそれぞれ接続します。



ご注意

● プラス+とマイナスーを間違って接続したり左右のスピーカーを間違えて接続すると再生音が不自然になりますのでご注意ください。
● 各スピーカー端子に複数のスピーカーシステムを接続しないでください。故障の原因になります。

⚠注意
スピーカーケーブルの芯線のプラスとマイナスを絶対に接触させないでください。発煙・火災の原因になります。

電源ケーブルの接続

●電源ケーブルを接続する前にRCAピンケーブルやスピーカーケーブル、すべての接続が完了していることを確認してください。

●ボリュームツマミを左に回しきった状態（minの位置）にして下さい。

●家庭用電源コンセントに電源プラグを差し込んだ状態でAC INLETから電源ケーブルを抜くと、感電する可能性があります。電源ケーブルを接続するときは、最後に家庭用電源コンセントに接続し、抜くときは最初に家庭用電源コンセントから抜いてください。本機の電源を入れると、瞬間的に大きな電流が流れてコンピューターなどの機器の動作に影響することがあります。コンピューターなど、繊細な機器とは別系統のコンセントに接続することをおすすめします。

●本機に付属している電源ケーブルは動作確認用です。より良い音質を得るためには別売りのハイグレード電源ケーブルのご購入をお勧めします。
（本書13ページをご覧下さい）

◎音楽を鑑賞する

電源を入れる

本機のPOWERスイッチを上げる

インジケータが点灯します。

ご注意

電気回路が安定するまで約30秒かかります。
その間は音声を出力しません。安定するまでの間にスピーカから「ブーン」というハム音が聞こえますが、異常ではありません。

接続した機器を再生する

1	**再生する機器を選ぶ** 入力切換つまみを回して、再生する機器を選びます。 LINE 1 ：LINE 1端子に接続した機器を再生します。 LINE 2 ：LINE 2端子に接続した機器を再生します。 LINE 3 ：LINE 3端子に接続した機器を再生します。
2	**選んだ機器の再生を始める**
3	**音量を調節する** ボリューム本体のVOLUMEつまみ、で音量を調節します。

⚠ 入力を切り換える際は、VOLUME つまみを「 Min 」の状態で行ってください。
切り替えノイズや突然の大きな再生音で、聴力障害などの原因となることがあります。

音質に関して

- オーディオ用RCAピンケーブルはスピーカーケーブルと一緒に束ねると音質が低下しますのでご注意ください。
- 電源を入れた後、30分以上経過した方が音質は安定します。また、振動を受けやすい場所は避けて設置してください。

◎困ったときは

まず下の表で点検してみてください。接続した他の機器に原因がある場合もありますので、他の機器の取扱説明書も参照しながら、あわせてご確認ください。

症状	原因と対策
電源が入らない	● 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。 → 一度電源プラグをコンセントから抜き、5秒以上待ってから再度コンセントに差し込んでください。 ●ヒューズが切れている場合は、販売店または当社までご連絡下さい。
音声が出力されない	● 接続ケーブルのプラグは奥まで差し込まれているか確認してください。 ● 接続した機器の入力端子/出力端子に間違いがないか確認してください。 ● スピーカーケーブルの＋/－は正しく接続されているか、スピーカーケーブルの芯線部が本機のスピーカー端子の金属部に確実に固定されているか確認してください。 ● スピーカーケーブルの＋/－がショートしていないか確認してください。 ● Input Selecterが正しく選択されているか確認してください。 ● ケーブルが損傷していないか確認してください。
ノイズが出る	● オーディオ用ピンケーブルと電源ケーブルなどを束ねると音質が劣化しますので避けてください。 ● 接続ケーブルが他の機器の影響を受けている可能性があります。 接続ケーブルの位置を変えてみてください。
ハム音について	● 一般的に本機のような真空管式オーディオアンプでは、動作状態で常にハム音が出ます。ただしこれはスピーカに耳を近づけて聞こえる程度の音量です。真空管や機器の経年変化によりハム音が大きく聞こえてくる事があります。この場合は販売店または当社にご相談下さい。

◎仕様

■使用真空管構成	初段 ECC83S×2　/　出力段 EL34×2　UL接続
■定格出力	7.5W＋7.5W　(8Ω　1kHz)
■インピーダンス	6～8Ωのスピーカに適合
■周波数特性	12Hz～42kHz（＋0、－3.0dB 1W時）
■入力感度	500mV（8Ω　1kHz　定格出力時）
■入力インピーダンス	100kΩ
■電源	AC100V　50/60Hz
■消費電力	150W（8Ω負荷定格出力時）
■最大外形寸法	238（W）×238（D）×236（H）mm
■重量	13.0kg

◎保証と修理について

■ 保証の開始とユーザー登録

この製品には「ご愛用者アンケートのお願い」を別途添付しています。「ご愛用者アンケートのお願い」を返信いただくことにより弊社でユーザー登録を行い、サポートを開始させて頂きます。必ずご返信頂きますよう、お願い致します。
保証期間はお買い上げ日より、本体、消耗品（真空管および添付品）ともに1年間です。

■ 調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。
また、修理を依頼される前に、販売店または当社に相談される事をおすすめします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げの販売店、または当社へご相談ください

■ 修理や点検について

万一、故障や異常が生じたときは、お買い上げの販売店または当社へご相談ください。保証期間中の場合は無料で、保証期間経過後はお客様の要望により有償で、修理や点検を行います。

■ ご相談・修理依頼されるときは

下記の事項をお買い上げの販売店、または当社までお知らせください。

※お名前
※お電話番号
※ご住所
※製品名
※シリアルナンバー
※できるだけ詳しい故障状況

ご購入されたときに下記の項目をメモしておくと修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

●ご購入年月日：　　年　　月　　日
●ご購入店名：
●Tel：　　（　　）
●メモ：

FA-105BLD グレードアップオプションパーツのご案内

FA-105が持っている能力をさらに引き出すためのグレードアップオプションパーツを用意しております。

ハイグレードインシュレータ

FA-105が秘めた能力を余すところ無く引き出す、グラデーション鋳鉄製インシュレータです。

●グラデーション鋳鉄と呼ばれる材質は、熔けた鋳鉄を急冷する特殊な作り方によって作られ、正式には共晶黒鉛鋳鉄と呼ばれます。熔けた鉄が固まる時に表面から中心に向かって時間差が出る事を利用して製造されます。

●このインシュレータの音の方向性は、解像度の向上と共に中高域のクリヤー感が増す方向です。音の切れ、透明感が向上し、パワフルなサウンドが得られます。

型番	EPA-ASB5020
外形	直径50×高さ20mm
重量	250g/1個
材質	グラデーション鋳鉄
仕上げ	マットブラック仕上
標準価格	￥5,800（￥6,090 税込み） ／4個1組

ハイグレード電源ケーブル

導体・絶縁材や電源プラグはもちろん、芯線の構造にもこだわった、オーディオ用ハイグレード電源ケーブルです。

●長時間の低温アニール処理が施された導体（高純度OFC）は、内部組織が均質化され、安定した伝送を実現します。

●絶縁材には振動吸収性に優れ、機械的強度を有するシリコンゴムを採用する事により、瞬時の電流負荷変動による振動を吸収し歪を減少させ、安定した伝送を行います。

●スターカッド構造を採用する事により、低インダクタンス化をはかると共に、通常のケーブルに比べてコード内で大幅にノイズを減衰させます。4本の芯線はそれぞれ強化繊維（テトロン）スリーブで被覆しケーブル間の共振を抑え、優れた振動制御能力を発揮します。

●電源プラグのプラグ部分は接触抵抗の少ないホスピタルグレードコンセントプラグを採用。ホスピタルグレードコンセントプラグは、通常のコンセントプラグに比べ、接点部分の接触抵抗が1/4以下でプラグによる抵抗を極力抑えられます。機器接続用インレットプラグには、SCHURTER 4781(2μ厚24kメッキ)を採用していています。

型番	EPA-PWC5015
線材	低温アニール処理無酸素銅線
構造	スターカッド撚り構造
芯線	4Sq(400/0.12×2)
外径	10.6mm
電源プラグ	松下電工 WF5018 （ホスピタルグレード）
IECコネクタ	SCHURTER 4781 （2μ厚24kメッキ）
長さ	1.5m
定格	125V / 15A
標準価格	￥23,000（￥24,150 税込み）

ここに記載されている情報は2007年6月1日現在のものです。改良のため予告無く価格・仕様を変更する場合がございます。

Falcon

Flies away toward new impression.

お問い合わせ先

サンハヤト株式会社

〒170-0005　東京都豊島区南大塚3-40-1

TEL: 03-3984-7791　FAX: 03-3971-0535

E-mail : falcon@sunhayato.co.jp

MNL-FLF105BL-001 2007.6.1 © 2007 Sunhayato Corp. Falcon Project